

■鳥屋野潟整備実施計画(素案)に関する代表的な意見等

【市民団体との意見交換会（H24. 11. 21）、地域住民との意見交換会（H24. 12. 9～12. 18）において寄せられたご意見、アンケート結果より】

| No. | 項目 | ご意見・ご要望・ご質問 | 回答 |
|-----|------|--|--|
| 1 | 事業実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■整備に賛成 ・洪水被害の軽減で安全、安心な生活環境を望む ・遊歩道の整備、桜並木の保全、整備により、憩いの場として人が集まるように望む ・観光地となるような整備を望む ・次世代に立派なものを残したい | <p>鳥屋野潟の治水計画においては、ポンプ排水に加え、潟の貯水容量を最大限見込んだ計画としておりますが、現状では、計画高水位より低い区間や構造上の余裕高が不足している区間があることから、必要な湖岸堤の高さの確保に築堤は不可欠と考えております。この整備を行うことにより、雨水を潟に安全に貯め込む器を作ることができ、潟からの溢水被害の防止をすることができます。また、築堤区間の堤防天端を遊歩道として活用することや、桜並木を保全するなど、将来にわたり多くの県民から利用される計画としていきたいと考えて降ります。</p> |
| 2 | 事業実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■整備に賛成 ・早期の整備を望む ・用地買収を早く行って欲しい | <p>平成20年度より取り組んできた湖底地の地図修正（公図確定）作業が今年度末までに完了する見通しが立ったことから、計画の策定に取り組んでおり、鳥屋野潟流域の治水安全度向上のため、出来るだけ早期に整備を行いたいと考えております。</p> |
| 3 | 事業実施 | <ul style="list-style-type: none"> ■整備に反対 | <p>鳥屋野潟流域の治水安全度向上のための築堤計画について、引き続き、わかりやすい説明に努めます。</p> |
| 4 | 治水計画 | <ul style="list-style-type: none"> ■H10.8洪水規模に対しても浸水が起こらない計画として欲しい。計画規模をW=1/50よりも大きく設定して欲しい。 | <p>一時に整備水準を上げようとする、ポンプ施設の大規模な増強等が必要となり、費用も事業期間も増大することになります。当面は1/50規模の降雨を安全に鳥屋野潟にため込めるような湖岸堤整備を行い、次のステップでポンプの増強などを含め、段階的な施工を行うことにより治水安全度を高めていきたいと考えております。</p> |

| No. | 項目 | ご意見・ご要望・ご質問 | 回答 |
|-----|------|---|--|
| 5 | 治水計画 | <p>■築堤の根拠（HWLの設定根拠。治水容量350万m³との関係）が明確ではない。H23の豪雨では被害がなかった。築堤が必要であればシミュレーション結果を示すべきである。</p> | <p>HWLの設定に当たっては、流域の地勢を考慮して、潟に注ぐ排水路の流入に対する支障を少なくするとともに、潟の貯水能力が最大となる高さで設定しています。治水容量はHWL（TP-0.5m）と常時維持水位（TP-2.5m）との2m間で貯留される容量となりますが、現状では、計画高水位より低い区間や構造上の余裕高が不足している区間があることから、必要な湖岸堤の高さの確保に築堤は不可欠と考えております。</p> <p>H23年7月新潟・福島豪雨の時間最大雨量は38.5mmであり、H10年8.4水害の最大時間雨量64mmに比べ小さく、鳥屋野潟への流入量も少ないものでした。また、H23年7月新潟・福島豪雨は、降雨と降雨の間に10時間の小康状態があったため、この間にポンプによる排水で潟の水位が低く保たれ、大事には至らなかったものと考えております。これに対してH10年8.4水害は、短時間の集中豪雨であったため、小康状態がなく連続した降雨により、大きな被害が発生しました。このような降雨においては、ポンプによる機械排水だけでは対応できないため、潟による貯留機能が必要となります。なお、降雨や水位等に基づくシミュレーション結果を以下の新潟県のホームページにて公開しています。 http://www.pref.niigata.lg.jp/HTML_Article/153/518/toyanotisuihousiki_01.pdf</p> |
| 6 | 治水計画 | <p>■阿賀野川、小阿賀野川に排水する農林のポンプを活用し、鳥屋野潟一極に雨水を集めない治水方策やポンプ施設の拡充等により築堤を行わない方法は考えられないのか。</p> | <p>鳥屋野潟流域の治水対策として、分散排水、貯留施設、排水機場の増強といった様々な対策が考えられますが、まずは鳥屋野潟に水を安全に貯め込む「器」の整備が他の対策に比べて効果的かつ経済的であることから必要と考えております。その他の対策は、次のステップとして取り組んでいくものと考えております。</p> |
| 7 | 環境 | <p>■現在の豊かな自然環境をなくさないようにしてほしい。 ■現状のヨシ原をなくさないようにしてほしい。</p> | <p>湖岸堤の整備にあたっては、現状の自然環境に十分配慮した計画・施工を行っていき、自然環境を極力保全するとともに、可能な範囲で創出するように考えております。</p> |
| 8 | 環境 | <p>■現在の自然は、本当の自然ではない。昔はヨシなどはなく、現在の自然は本来の自然でない。</p> | <p>現状の自然環境を極力保全することを念頭に、整備実施計画（素案）では、ヨシ原を極力保全・創出することとしておりましたが、計画（案）では、多様な動植物が生息する湖岸部の陸域から水域までの湿地植生が重要と考え、保全・復元することを基本としております。</p> |
| 9 | 環境 | <p>■工事の影響を長期的にきちんと評価し、アセスメントを行う必要がある。 ■動植物調査の継続と希少種の保全対策をするべき。</p> | <p>工事にあたっては、影響範囲について、動植物の生育、生息環境への影響を最小限とするため、今後も動植物調査を行い、環境への影響を適宜評価等行いながら進めていきます。 希少種等の保全対策の基本的考え方と、環境配慮計画を整備実施計画案にとりまとめております。</p> |

| No. | 項目 | ご意見・ご要望・ご質問 | 回答 |
|-----|-----|------------------------------------|--|
| 10 | 環境 | ■へドロ対策など、水質浄化に努めてほしい。 | 鳥屋野潟では、阿賀野川及び小阿賀野川からきれいな水を導水するとともに、定期的に水質調査も実施し、水質改善に努めております。また、限りある予算の中で、流水を流れやすくし、水質改善にも寄与する水路浚渫を実施しております。 |
| 11 | 利活用 | ■桜並木を保全してほしい。 | 築堤の計画にあたっては、堤防の背後に幅5mの側帯を設けて桜並木を保全することとしております。 |
| 12 | 利活用 | ■桜並木のうち、老木は植え替えるなど対処してほしい。 | 桜の寿命等により更新の必要が生じた場合、整備や管理については、県・市・地域住民の皆様や各種団体などと協働で行うといったことも含め、今後検討していきたいと考えております。 |
| 13 | 利活用 | ■遊歩道を整備して欲しい | 築堤区間の堤防天端を遊歩道として活用し、既存の公園の園路等と接続して一周できる計画としております。 |
| 14 | 利活用 | ■管理用通路に自転車道も併設して整備して欲しい。 | 歩行者の安全を最優先とする考え方により、自転車を遊歩道には入れないことを考えております。 |
| 15 | 利活用 | ■自転車道も必要。 | 自転車道は、今回計画に位置づけておりませんが、側帯を予定する区間については、「堤防天端幅5m、側帯幅5m」とすることで、将来的に自転車道設置も可能となるような空間確保を提案しております。 |
| 16 | 利活用 | ■ボート等、レジャーの場を整備して欲しい。 | スポット的な整備は、引き続き検討していきたいと考えております。 |
| 17 | 利活用 | ■観光にも力を入れること。観光資源としての有効活用を検討して欲しい。 | 鳥屋野潟は、新潟市の中心に残された貴重な自然的観光資源であることから、堤防管理用通路の遊歩道活用や桜並木の保全、湖面へのアクセス性向上等の整備を行い、既存の公園と連携して、将来にわたり県民の憩いの場として活用されるような整備を行ってまいります。 |
| 18 | 利活用 | ■駐車場を整備して欲しい。 | 鳥屋野潟は一周約8kmの広大な潟であるため、アクセスのしやすさ、利用しやすさを考慮した駐車場の配置が必要であると考えています。現在は、女池地区、鐘木地区、スポーツ公園において駐車場が整備されており、今後、湖岸堤の整備に併せて、長潟地区、神道寺地区、小張木地区において、駐車場を整備する計画としております。 |

| No. | 項目 | ご意見・ご要望・ご質問 | 回答 |
|-----|----------|--|--|
| 19 | 利活用 | ■鳥屋野潟を南北方向で横断できる橋を整備して欲しい。 | 費用の課題や環境配慮の観点から、橋梁の整備は困難と考えており、今回の実施計画では位置づけないこととします。 |
| 20 | 潟一周道路の整備 | ■既存の車道の整備は不要と思う。 ■現在のように多少不便な方が交通量が増えず、自然環境への害も少ないと思う。 | 現在の鳥屋野潟を外周する道路は、幹線道路や生活道路など様々な性格をもった道路で構成しています。 このうち鳥屋野女池線は、千歳大橋から新潟中央インターチェンジに至る幹線道路と並行し、幹線道路の交通機能を補完する地域にとって重要な補助幹線道路として機能しており、歩道の連続性を確保するため、歩道の新設を行います。 また、その他の区間については、潟へのアクセスのしやすさや生活道路としての利用を踏まえ、車がすれ違うことが困難な箇所などの最小限の拡幅整備を築堤整備や公園整備に併せて行う予定です。 |
| 21 | 潟一周道路の整備 | ■桜木町（桜木インターから潟に向かって進んだところ）から右折したところ、一部道路が細い。湖岸堤整備とあわせて道路拡幅計画はないのか。 | 桜木町から右折した箇所については、潟へのアクセスのしやすさや生活道路としての利用を踏まえ、車がすれ違うことが困難な箇所などの最小限の拡幅整備を築堤整備や公園整備に併せて行う予定です。 |
| 22 | 維持管理 | ■ゴミを捨てないように管理して欲しい。 | 適切な維持管理に努めたいと考えております。 また、行政による管理だけでなく、地域住民の皆様や各種団体などと協働で管理を行うといったことも今後検討していきたいと考えております。 |
| 23 | 維持管理 | ■地域、近隣住民との協働作業での管理が良いと思う。 | |
| 24 | 学習/体験 | ■自然観察所等の教育施設を設置してもらいたい。 | 潟周辺の具体的な利活用については、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。 |
| 25 | 事業計画・工法 | ■概ねの事業スケジュールを示して欲しい。 | 調整事項が多いことから、工事の着工時期や完成時期については、現段階においてお示しすることができません。 |
| 26 | 事業計画・工法 | ■事業は長期間を要するので、「験しながら施行する」姿勢を明確にして欲しい。 | 工事中の環境配慮に努めるべく、整備計画案において配慮事項をとりまとめております。その中で、工事による自然環境への影響を把握するため試験施工を行うことも考えます。 |
| 27 | 事業計画・工法 | ■多額の事業費を要するものであり、拙速に着工せず、広く市民意見をきき、取り入れるようにして欲しい。 ■検討委員会スケジュールを見直して欲しい。 | 整備計画策定のスケジュールはあくまでも目安であり、市民県民の皆様のご意見を聞きながらすすめていくこととしております。2月には、再度計画案に対する意見交換会等も予定しており、スケジュールありきですすめようと考えているものではありません。 |

| No. | 項目 | ご意見・ご要望・ご質問 | 回答 |
|-----|----------------|---|---|
| 28 | 実施体制、 すすめ方等 | ■市民団体、環境保護団体のメンバーによって構成される常設の検討委員会を設置して欲しい。 | 今回の整備実施計画策定後のすすめ方については、今後改めて検討していきたいと考えております。 |
| 29 | 実施体制、 すすめ方等 | ■国、県、市、土地改良区等の枠を越えて情報を共有して、良い鳥屋野潟を付くって欲しい。 | 関係する各機関において情報共有を行い、よりよい整備計画を策定していきたいと考えております。 |
| 30 | 実施体制、 すすめ方等 | ■地権者、周辺住民の理解、合意を得るために根気よく説明して欲しい。 | わかりやすく丁寧な説明に努めてまいります。 |
| 31 | 実施体制、 すすめ方等 | ■排水施設の点検・維持管理を万全に行って欲しい。 | 排水機場のポンプ施設等については、定期的な点検を行っており、今後も適切な管理に努めます。 |
| 32 | 実施体制、 すすめ方等 | ■外来種等を考慮して、築堤に際しなるべく浚渫土を活用して欲しい。 | 浚渫土砂の利用も考えております。 |